

目指す児童像
たくましい子
考える子
働く子
思いやりのある子

桜

学校だより 第7号
令和5年10月18日
宇都宮市立桜小学

さあ、2学期のスタートです！

今年は気温が高い日が続いていましたが、学期間休業の頃から急に肌寒くなってきました。各地からの紅葉の便りも聞かれるようになり、やっと秋が感じられるようになってきました。これまで、季節外れの暑さにばかり気を取られていましたが、気が付くと本校の樹木も、色合いが変わってきています。10月24日は二十四節気の「霜降」です。「霜降」とは「霜が降りる頃」という意味で、今までより寒さが加わり、露が凍って霜に変わり始める季節のことです。地球温暖化の影響で気温が高くなっているとはいえ、インフルエンザ予防対策を含め、体調管理に万全を期してほしいと思います。

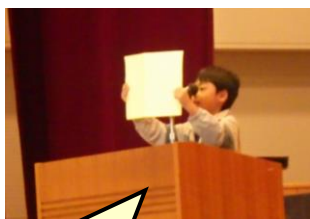
「読書の秋」「食欲の秋」「学習の秋」「運動の秋」、秋は何をするのにも、最適な季節です。子どもたちの学校生活が実りあるものとなるよう、これからも、工夫して教育活動を展開してまいります。2学期も引き続き、学校運営にご理解ご支援いただけますよう、よろしくお願いいたします。



子どもたちは、節目をもって、たくましく成長します！

1学期終業式には1・6年生の代表児童が「1学期に頑張ったこと」、2学期始業式には4年生の代表児童が「2学期に頑張りたいこと」の作文発表をしました。その表情はみんな生き生きとしていて、発表を終えた後は、やり遂げた充実感に満ち溢れている様子でした。

3名の代表児童



小学校に入学して、算数の計算が得意になりました。かけっこをたくさんして足が前より速くなりました。



目標をもって生活すること、何事もひとつひとつ最後までしっかりやり遂げることを心がけて生活しました。



2学期にがんばりたいことは「あいさつ・算数の学習・クラブ活動」です。そして、下級生のお手本になれるようにがんばります。

「1学期終業式」「2学期始業式」こんな話をしました

「1学期終業式」

「なりたい自分の種」は、自分の身近なところに落ちているものです。「その種を見つけられるか」「その種を育てるための努力が続けられるか」が大切です。「なりたい自分の種」を見つけたら、「まずはアクション!」「積極的にチャレンジ!」「失敗は成功のもと!」の気持ちをもってやってみよう。みんなの可能性は無限大です。学校生活を通して「夢・志」を創っていきましょう!!

「2学期始業式」

やっと秋らしくなってきましたね。「秋」という言葉を使った「ことわざ」はたくさんありますが、みなさんは何か知っていますか。「天高く馬肥ゆる秋」ということわざがあります。「空は澄み切って晴れわたり、馬が食欲をまし、たくましく育つほど秋は過ごしやすい」という意味です。何をするのにも、最適な季節「秋」になりました。充実した学校生活となるように、2学期も頑張ろう!!

さくら学級校外学習「特別支援学級作品展見学」

9月29日(金)、さくら学級の子どもたちが「宇河地区特別支援学級児童生徒作品展見学」のために、展示場所である宇都宮教育センターまで路線バスを使って校外学習に出かけました。途中、JR宇都宮駅に行き、駅員さんに案内されて駅構内を見学しました。宇都宮教育センターでは、他校の友達のたくさんの作品に触れ、次への創作意欲を高めていました。上級生が下級生の面倒を見たり、出会った人に気持ちよく挨拶をしたりするなど、さくら学級の子どもたちの優しく素直な言動がたくさん見られました。



出前講座「1年生うさぎさんと仲良しになろう」

10月2日(月) 2・3時間目、うつのみや動物園の職員の方を講師にお招きし、1年生が「生活科・うさぎさんと仲良しになろう」の学習を行いました。「生き物と触れ合い、生き物の暮らしや成長に関心をもつとともに、命の大切さを直に感じる」ことが学習のねらいです。うさぎの飼育の仕方や生態などについて講師の方から話を聞いた後、実際にうさぎと触れ合う場を設けてもらいました。うさぎを抱っこしたり聴診器で鼓動を確かめたりしながら、子どもたちは命あるものの温かみを感じ取っている様子でした。



百聞は一見に如かず「3年生カルビー工場見学」

10月3日(火)、3年生が社会科校外学習で「カルビー清原工場」「飛山城史跡公園」を見学しました。「工場の製品生産過程を実際に見学することで、働く人たちの工夫や努力に気付くこと」「飛山の自然と歴史を学ぶとともに、清原地区と平石地区の土地の特徴について学ぶこと」が学習のねらいです。工場のラインを見学した子どもたちからは、「わー」「すごーい」「そうなんだ」などのつぶやきがたくさん聞かれました。見学ガイドさんから「安心・安全」「食べてくれる方の笑顔」など、大切にしている思いを聞くことができ、子どもたちは熱心にメモを取っていました。「百聞は一見に如かず」、働く人たちの思いや工夫・努力を実感することができ、貴重な学習の機会となりました。



出前講座「6年生勾玉づくり体験」

10月3日(火) 5・6時間目、栃木県埋蔵文化財センター職員の方を講師にお招きし、6年生が「勾玉づくり体験」を行いました。用意していただいた直方体の石を根気よくやすりで削り、勾玉の形にしていきました。水に濡らしながらやすりをかけ続けると、ぴかぴかの勾玉が出来上がりました。オリジナルの勾玉を完成させて首にかけると子どもたちは、笑顔一杯の表情を見せていました。



竜巻を想定した避難訓練

10月13日(金) 業間時、「竜巻時避難訓練」を実施しました。ここ数年、栃木県内の近隣市町では、竜巻の発生により大きな被害が起きています。桜小では、「異常気象により、竜巻・台風・洪水・落雷等の自然災害がいつ起きてもおかしくない」という認識のもと、様々な非常災害を想定した訓練を行っています。児童は事前に動画を視聴し、「竜巻の怖さ」や「竜巻から身を守る方法(ダンゴムシのポーズ=シェイクアウト)」を学びました。訓練では、竜巻接近の緊急放送を聞き、各自が机の下にもぐったり、シェイクアウトの姿勢をとったりするなど、身を守る行動を的確にとることができました。

